



教育機関との パートナーシップ連携推進室

PARTNERSHIP & COLLABORATION DIVISION

清 光 学 院



← 従来の領域

急増する新領域 →

知識習得型指導

問題の解き方を覚え、正確に再現する。
長年にわたり蓄積された、効果的な指導形式。

融合型問題

論述・記述評価

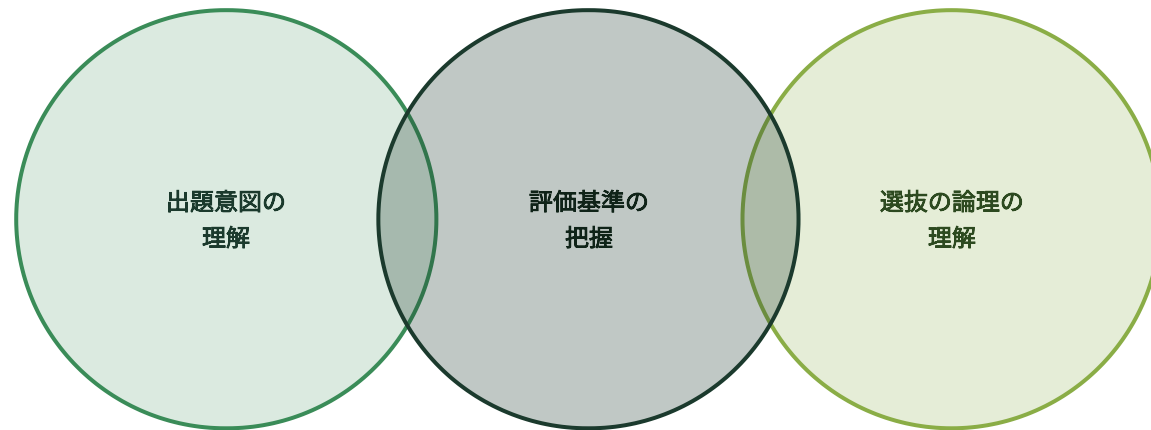
小論文・志望理由書

面接・総合評価

→ これらは「知識の再現」だけでは対応できない領域です

これらの新領域で求められるのは、 単なる「解き方」ではありません

評価する側の視点・論理・基準を理解してはじめて、対応が可能になります。



この3つが重なるところに、「合否を分ける答案」が生まれます。

日々の教育現場を支えておられる先生方のご尽力に対し、深い敬意を表します

高等学校の先生方、ならびに塾・予備校の指導者の皆さまによる、
長年にわたり培われた教育実践の積み重ね。

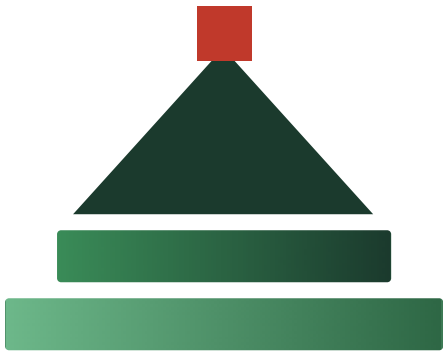
学習習慣の
形成

基礎力の
定着

日常的な
進捗管理

これらは受験において絶対に欠かすことのできない、不可欠な基盤です。

清光学院は、大学入試問題の作成や合否判定に 関与してきた教育研究者で構成されています



- ▶ 大学入試問題の作成
- ▶ 答案の採点・評価
- ▶ 教授会等における合否判定

「出題する側・採点する側・合否を決める側」の経験を持つ研究者が、指導の中核を担っています。

私たちが専門とするのは、「教える側」ではなく 「選抜する側」の論理です

「教える側」の視点

知識をいかに分かりやすく伝え、
定着させるか。

「選抜する側」の論理

評価基準に照らし合わせ、
いかにして合否を分けるか。

既存の教育機関と競合するものではなく、**教育機関では対応が難しい領域を補完するための専門機関**として機能します。

| | 高校・塾・予備校 | 清光学院 |
|------|------------|------------|
| 哲学 | 「育てる教育」 | 「選抜に通す教育」 |
| 担当領域 | 基礎力養成・日常指導 | 最終評価対応・仕上げ |

■ 出題者の視点からの問題分析

■ 採点基準に即した答案構成指導

■ 合否を分ける記述・論述の最終調整

■ 面接・志望理由書における評価論理の指導

指導の高度化・差別化

合格実績の質的向上

貴校・貴塾単独では対応が難しい高度領域の外部補完